

令和8年4月19日執行
小林市長選挙

会計帳簿

候補者氏名

出納責任者氏名

備考

1. この帳簿には、選挙運動に関するすべての寄附及びその他の収入を記載するものとする。
2. 債務の免除、保証その他金銭以外の財産上の利益の収受については、その債務又は利益を時価に見積った金額を記載するものとする。
3. 寄附及びその他の収入が金銭以外のものであるときは、「金銭以外の寄附及びその他の収入の見積の根拠」の欄にその員数、金額、見積の根拠等を記載するものとする。
4. 寄附の中金銭、物品その他の財産上の利益の供与又は交付の約束は、その約束の日の現在において記載するものとし、その旨並びにその履行の有無及び年月日等を「備考」欄に記載するものとする。
5. 「種別」の欄には寄附金とその他の収入との区別を明記するものとする。
6. 前各号に定めるものの外、出納責任者において必要と認める事項を記載することができる。

備考

1. この帳簿には、選挙運動に関するすべての支出を記載するものとする。
2. この帳簿には、（１）立候補準備のために支出した費用（２）選挙運動のために支出した費用の二科目を設けて記載し、「支出をした者の別」の欄に、出納責任者の支出、候補者の支出、その他の者の支出の別を明記するものとする。
3. この帳簿の各科目には、（１）人件費（２）家屋費（〔イ〕選挙事務所費〔ロ〕集合会場費等）（３）通信費（４）交通費（５）印刷費（６）広告費（７）文具費（８）食糧費（９）休泊費（１０）雑費の費目を設けて、費目ごとに記載するものとする。
4. 金銭の支出をしたときは、「金額又は見積額」欄中「金銭支出」の欄に記載し、財産上の義務を負担し、又は建物、船車馬、飲食物、その他の金銭以外の財産上の利益を使用し、若しくは費消したときは、「金銭以外の支出」の欄に時価に見積った金額を記載し、その都度あわせて合計を記載するものとする。前項の場合において「金銭支出」と「金銭以外の支出」とは、別行に記載するものとする。
5. 支出が金銭以外の支出であるときは、「金銭以外の支出の見積の根拠」の欄にその員数、金額、見積の根拠等を記載するものとする。
6. 「支出の目的」の欄には、支出の目的（謝金、人夫賃、家屋贈与等）、員数等を記載するものとする。
7. 支出の中金銭、物品その他の財産上の利益の供与又は交付の約束は、その約束の日の現在において記載するものとし、その旨並びにその履行の有無及び年月日を「備考」欄に記載するものとする。
8. 選挙運動に関わる公費負担対象支出（ビラ又はポスターの作成）については、「備考」欄にその旨を記載するものとする。
9. 前各号に定めるものの外、出納責任者において必要と認める事項を記載することができる。